『地域産業の担い手育成プロジェクト(建設分野)』 平成20~22年度



事業実施機関:栃木県教育委員会、社団法人栃木県建設業協会

•連 携 省 庁:国土交通省

・モ デ ル 校:県立宇都宮工業高等学校、県立今市工業高等学校、県立真岡工業高等学校

事業概要

建設業においては、技術者の高齢化と若手技術者の不足が問題となっており、次世代の建設業を担う人材の育成が課題となっている。

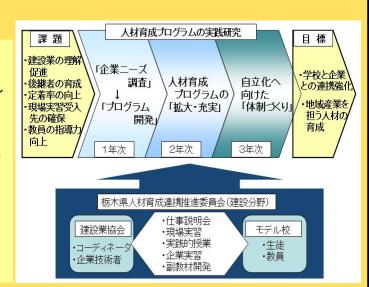
栃木県教育委員会では、平成20年度から、(社)栃木県建設業協会と連携し、高校生が実践的な知識や技術・技能に触れることで、学習意欲を高め、主体的な職業選択能力や職業意識の向上を図る「人材育成プログラム」を実践してきた。具体的には、生徒の現場実習、企業技術者による実践的授業、教員の企業実習などである。

事業目標

平成20年度に本事業で実施した企業アンケート調査では、設計技術や施工管理・施工計画に関する基礎的知識が求められていることが明らかになった。

また、専門高校生に対する評価として、 採用しても仕事になじめない者や言葉遣い、あいさつのできない者が見受けられる 等の意見も見られた。

したがって、専門的な基礎知識・技能を しっかり身に付けさせるとともに、社会常 識・マナーを身に付けさせる教育やコミュ ニケーション能力を高める教育も必要とさ れている。



栃木県の特徴的な取組み

【 1 】伝統文化・技術に関する授業(学校設定科目「伝統技法」)の導入と継続

〇研究のねらい

新しい学習指導要領の内容を先取りし、世界遺産である日光東照宮、輪王寺など「日光の社寺」の見学や技術者による授業をモデル校1校で平成21年度から実施している。寺社建築の特徴である銅版葺きなど伝統技法の継承を図るプログラムである。

〇研究成果

平成21年度には3名が、平成22年度もプログラムを継続実施し、6名の希望者が受講した。改めて日光の伝統技術に関心と興味を持つことができ、地域の伝統技法や文化遺産を大切にしていこうという心構えができた。

また、平成22年度は別のモデル校の「企業技術者による授業」において、新たなテーマで伝統技法に関する授業が行われ、今後の継続が期待される。





【2】「建設業仕事説明会」の実施

〇研究のねらい

2年生で実施するインターンシップ・現場実習への導入プログラムとして、1年生を対象に、建設業の経営者や技術者を招いて実施している。専門科目に対する理解を深め、キャリア意識の高揚を図り、あわせて保護者へも参加を呼びかけ、積極的に教育活動に関わっていただく内容である。

〇研究成果

平成20年度は宇都宮工業高校1校のみの実施であったが、平成21度からは全てのモデル校において実 施し、成果を残すことができた。

特に、平成22年度は保護者へも開 催通知したところ、15名の参加があり 積極的 に教育活動に参加していた だいた。



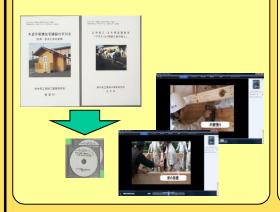


【3】ビジュアル副教材の作成 〇研究のねらい

生徒の理解度をより一層高めるため、 テキスト版の副教材に加え、一部はD VD版を作成している。

〇研究成果

企業技術者の音声や作業音など、臨 場感の高い副教材を作成した。今後の 授業や資格試験指導で活用を図る。



【 4 】「人材育成連携企業データベース」の作成 〇研究のねらい

今後の人材育成支援ツールとして、3年間の実践で築き あげた貴重な資産をデータベース化し、協力企業名や連絡 先、実践内容が瞬時に表示できるソフトを作成する。

〇研究成果

企業の得意分野や生徒受入れ可能人数、担当者連絡先 など、生徒のニーズに合わせて企業を選定できるよう作成 した。



【5】建設関連企業向け「現場実習・インターンシップ受入マニュアル」の作成 〇研究のねらい

現場実習やインターンシップの受 入企業の拡充を図るとともに、スム ーズな導入を目指して、リーフレット を作成する。

〇研究成果

基本的な考え方や実施内容を例 示したリーフレットを作成した。事業 終了後も引続き企業との連携を維 持し、受入企業の新規開拓を図る。







絡 連

■栃木県教育委員会事務局学校教育課 〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20 TEL028-623-03382

URL http://www.pref.tochigi.lg.jp/m04/index.html

〒321-0933 宇都宮市簗瀬町1958-1 TEL028-639-2611(代)

URL http://www.tochiken.or.jp/

先

■社団法人栃木県建設業協会